

2025年6月25日

報道関係各位

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
GMO イブシロン株式会社

オンライン決済インフラ「fincode byGMO」が、 Allganize の AI エージェント作成ツールと連携 ～MCP を介して、自社 AI エージェントを通じた決済関連業務の自動化・高度化を実現～

GMO インターネットグループで総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを展開する GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（東証プライム市場：証券コード 3769、代表取締役社長：相浦 一成 以下、GMO-PG）と連結会社の GMO イブシロン株式会社（代表取締役社長：村上 知行 以下、GMO-EP）は、2025年6月25日（水）より、スタートアップが成功するためのオンライン決済インフラ「fincode（フィンコード）byGMO」と、Allganize Japan 株式会社（代表取締役 CEO：佐藤 康雄 以下、Allganize）が提供する生成 AI・LLM アプリプラットフォーム「Alli LLM App Market」の自社専用の AI エージェントをノーコードで作成できるツール「Agent Builder」との連携を開始しました。本連携により「Alli LLM App Market」のユーザー企業は、自社で構築した AI エージェント上で、MCP（Model Context Protocol）^{（※1）}を介して、決済機能の直接操作やデータ連携が可能となり、決済関連業務の自動化・高度化が実現します。

（※1） AI エージェントが外部サービスの仕様を理解し、適切なリクエストを生成・実行するための共通規格のこと



【背景と概要】

多くの企業では部門・事業ごとに異なる SaaS 型サービスや専用ツールを導入しており、業務システムの利用環境は複雑かつ多様になっています。そうした中、自然言語で対話しながら情報を取得し、処理を実行できる AI エージェントの活用が進んでいます。AI エージェントを業務の中核に据え、SaaS や基幹システムと連携しながら、社内外のツールを横断的につなぐオーケストレーションの構築が広がっています。

こうした動きに対応し、GMO-PG は、AI 時代に最適な決済プラットフォームの実現に向け、国内の決済サービスプロバイダ（PSP）として初めて、GMO-EP が提供する「fincode byGMO」の「MCP」対応を行う^{（※2）}など、決済サービスと AI エージェントの融合を進めています。

このたび、「fincode byGMO」は、Allganize が提供する「Alli LLM App Market」の自律型 AI エージェントをノーコードで作成できるツール「Agent Builder」と連携し、「Agent Builder」を活用して構築された AI エージェントを通じて決済や請求、データ処理といった業務の自動化・高度化を実現します。

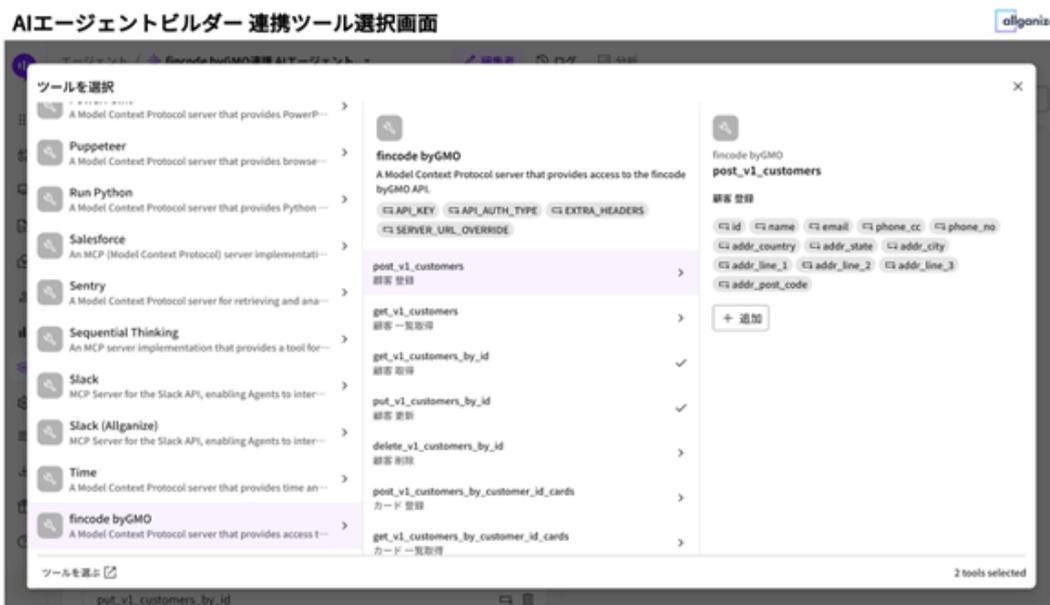
今後も GMO-PG は、信頼性と技術力を備えた国内外のパートナーと連携し、多様な AI エージェントとの接続を進めていきます。AI ネイティブ時代のナンバーワン PSP として、たえず進化を重ねながら、先進的な価値を社会に提供してまいります。

(※2) 2025 年 6 月 19 日発表「国内 PSP 初、「fincode byGMO」が MCP 対応、AI 時代における最適な決済プラットフォームへ」

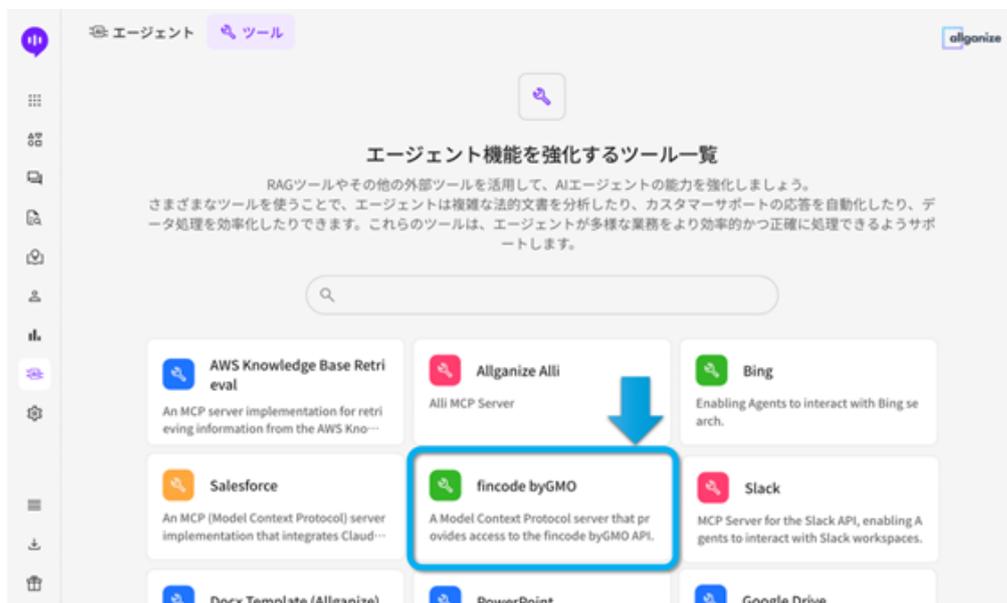
(URL : <https://www.gmo-pg.com/news/press/gmo-paymentgateway/2025/0619.html>)

【「fincode byGMO」と「Agent Builder」の連携概要と活用例】

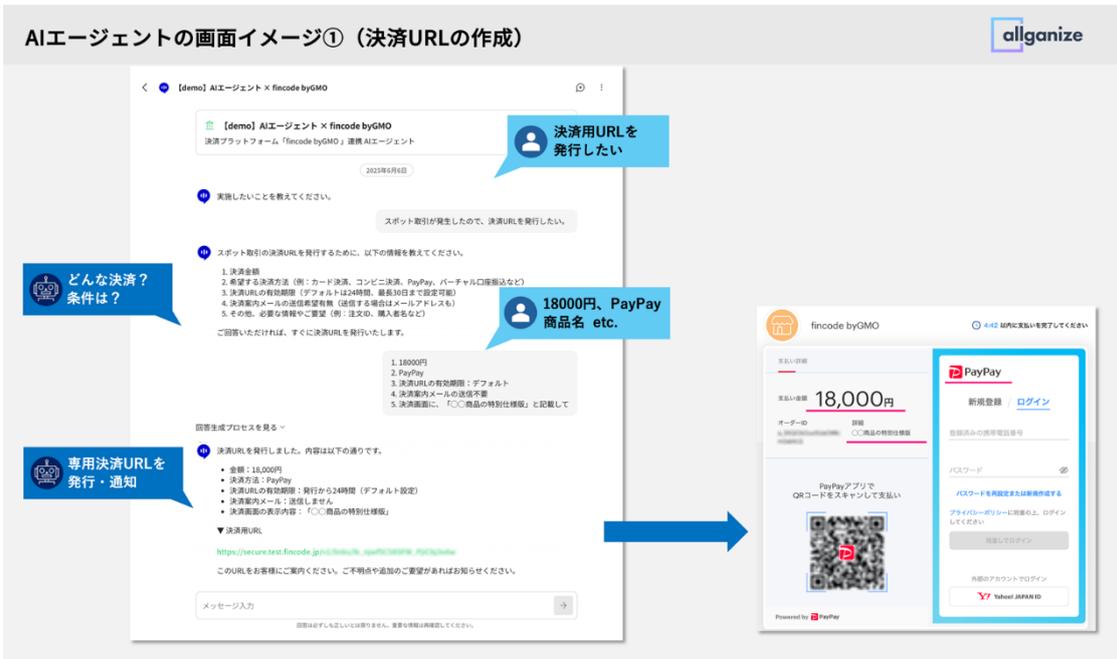
Allganize が提供する生成 AI・LLM プラットフォーム「Alli LLM App Market」内の「Agent Builder」にて、「fincode byGMO」との連携を指定できます。MCP を介して「fincode byGMO」の環境と接続することで、「Alli LLM App Market」のユーザー企業は、自社の AI エージェントを通じて決済用リンクの発行や請求書の発行をはじめとする決済関連の操作や、「fincode byGMO」へのデータ登録・出力などが可能となり、決済関連業務の自動化・高度化が実現します。



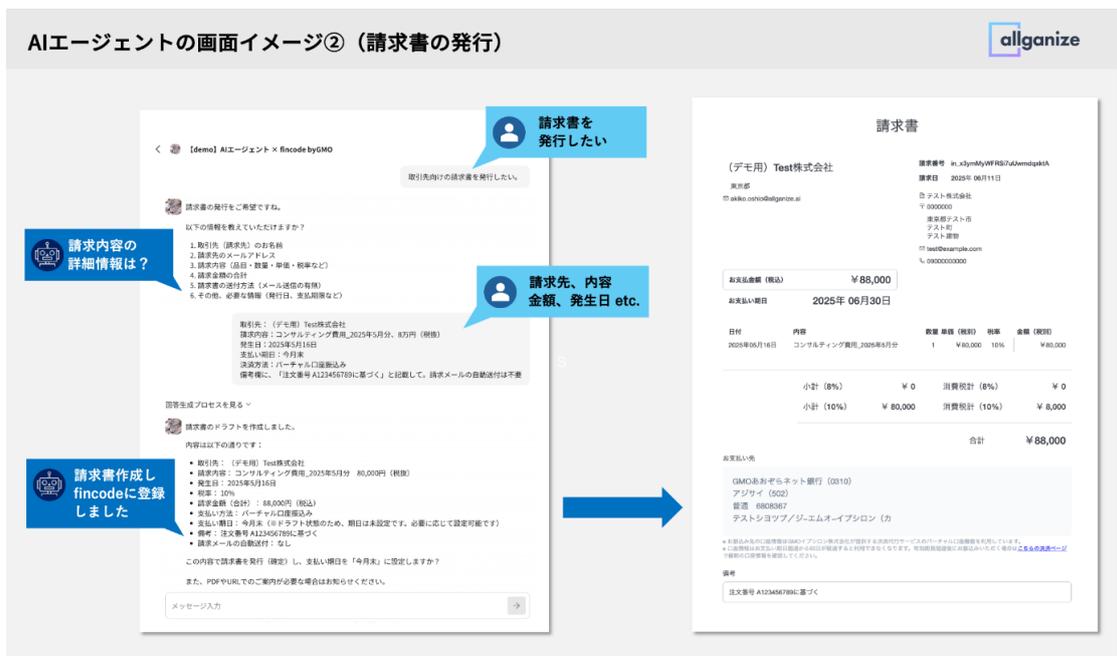
< 「Agent Builder」上での連携操作イメージ >



< 「Agent Builder」連携ツール一覧 >



< 「fincode byGMO」と連携した AI エージェントのイメージ① (状況に応じた決済 URL の発行) >



< 「fincode byGMO」と連携した AI エージェントのイメージ② (請求書の発行) >

■ 連携活用例

● 未回収債権業務の自動化

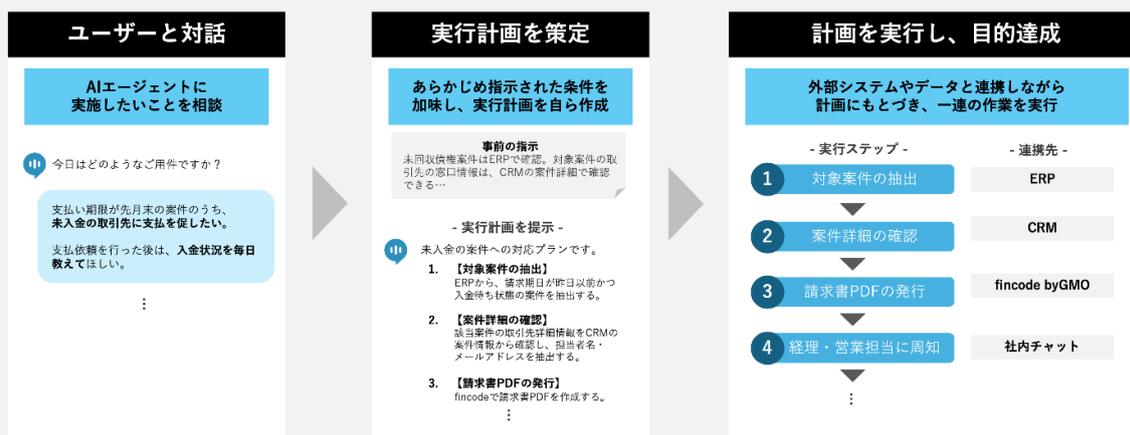
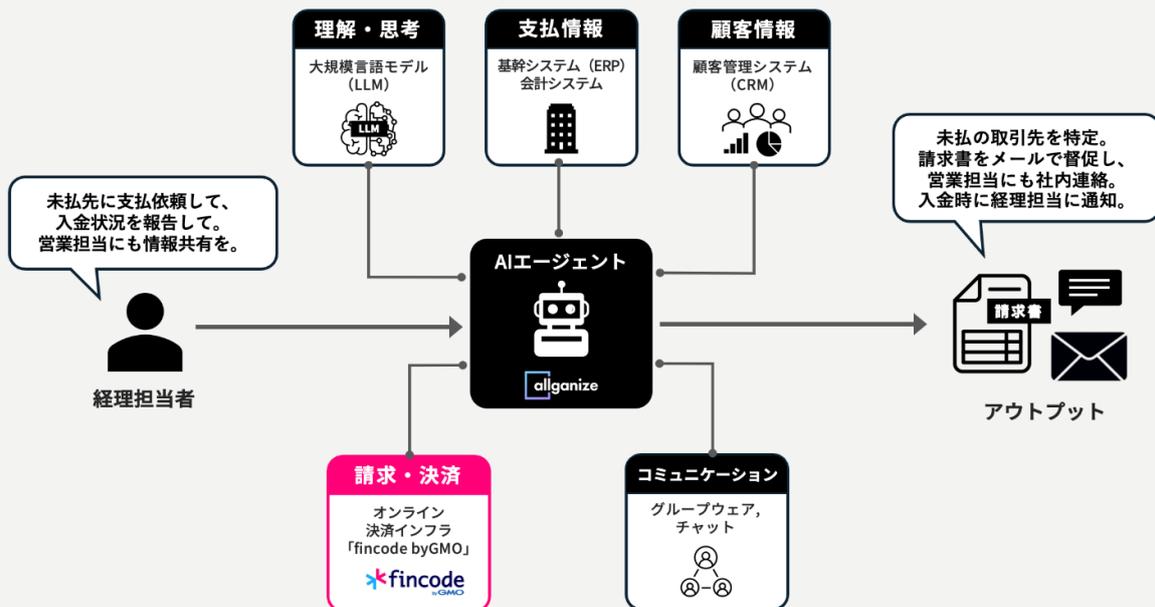
未入金案件のリストアップ、該当する取引先の確認、請求書の再発行、メールによる支払い依頼、入金状況報告など、一連の業務を AI エージェントがシームレスに対応。バックオフィスの業務負担を大幅に軽減します。

● パーソナライズされた顧客体験 (サブスクリプションなど)

AI エージェントが属性や嗜好を分析し、最適なプランを提案。プランに応じたオンライン決済リンクを自動で発行し、新規契約から顧客登録まで一気通貫で対応します。

● データドリブンなマーケティング戦略立案

顧客管理システムや販売管理システムなどから顧客データを AI エージェントが収集し、「fincode byGMO」のデータと合わせて分析。より精度の高いマーケティング戦略の立案に貢献します。



「Alli LLM App Market」のAIエージェント機能詳細については、以下 URL を参照ください。

URL : <https://www.allganize.ai/ja/agent>

【「fancode byGMO」について】 (URL : <https://www.fancode.jp/>)

「fancode byGMO」は、スタートアップの成長に寄り添うオンライン決済インフラです。新サービスのローンチ前後に生じる決済領域の課題を解決するだけでなく、事業フェーズの進展に伴い求められる拡張的な価値をシームレスに提供します。

「テスト環境の即時提供」「迅速な Web 審査」「開発工数を削減する SDK^(※3)・UI コンポーネント^(※4)」などにより、短いリードタイムで決済システムの実装を可能としています。また、REST API^(※5) やその他の拡張的な機能を通じて、「独自決済フローへの対応」「ユーザー拡大のための決済手段追加」「サブスクリプションプランの追加」「プラットフォーム型ビジネスモデルへの拡大」といった導入事業者の「次の一手」を支援します。

これらの機能を初期費用・月額費用無料、かつアカウント維持費用や振込手数料などの「見えないコスト」を最大限省いた料金体系で提供することで、導入事業者のコスト管理の負担を軽減し、自社サービスの成長に集中できる環境を提供します。

そして、拡張性に配慮した設計思想をベースに、AI時代のUX進化に合わせ「MCP(Model Context Protocol)」に対応し、AI エージェントと決済の融合による新たなユーザー体験を牽引しています。

(※3) Software Development Kit の略。「fincode byGMO」では API 組み込みを容易にするライブラリを提供しています。

(※4) クレジットカード情報の入力フォームを生成、提供する機能。

(※5) Representational State Transfer API の略。「fincode byGMO」ではリソース指向で理解が容易な REST API を通じて決済やサブスクリプションなどのデータを操作できます。

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

オンライン化・キャッシュレス化・DXなどを支援する決済を起点としたサービスを提供しています。年間決済処理金額は 20 兆円を超えており、オンライン総合決済サービスは EC 事業者や NHK・国税庁等の公的機関など 15 万店舗以上の加盟店に導入されています。

決済業界のリーディングカンパニーとして、オンライン総合決済サービス、対面領域での決済サービス、後払い・BNPL (Buy Now Pay Later)、金融機関・事業会社への BaaS 支援、海外の先端 FinTech 企業への戦略的投融資など、決済・金融技術で社会イノベーションを牽引し、持続可能な社会の実現と社会の進歩発展に貢献してまいります。(2025 年 3 月末時点、連結数値)

【GMO イブシロン株式会社について】

GMO-EP は、「Epsilon byGMO」と「fincode byGMO」の 2 つの決済代行サービスを提供しています。「Epsilon byGMO」は 2025 年 3 月末時点で 4 万社以上の EC 事業者にご利用されており、初期費用・トランザクション処理料^(※6)無料で利用できます。「fincode byGMO」は、スタートアップ企業を対象としたオンライン決済サービスで、さまざまなビジネスニーズに対応するように設計されています。迅速な決済システムの導入を可能にし、E コマースはもちろん、プラットフォーム型やサブスクリプション型のビジネスモデルにも最適です。

また、EC 事業者の円滑なキャッシュフローをサポートするべく、売上連動型ビジネスカード「Cycle byGMO」、レンディングや送金サービス等の金融関連サービスも提供しています。

東証プライム上場企業の GMO ペイメントゲートウェイの連結会社として、プライバシーマーク認証や PCI DSS、ISMS 準拠のセキュリティ基準で安心してご利用いただける環境を提供しています。

(※6) トランザクション処理料とは、クレジットカードのオーソリゼーション(承認番号取得)や請求等でクレジットカード会社との通信ごとにかかる料金。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
企業価値創造戦略統括本部 広報部
TEL : 03-3464-0182
お問い合わせ :
<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>
- GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 新野
TEL : 03-5456-2695
お問い合わせ :
<https://www.group.gmo/contact/press-inquiries/>

【AI エージェントとの連携に関するお問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
企業価値創造戦略統括本部 経営企画統括部
E-mail : nbc@gmo-pg.com

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO イブシロン株式会社
「fincode byGMO」サポートチーム
お問い合わせフォーム :
<https://form.fincode.jp/contact>

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】(URL : <https://www.gmo-pg.com/>)

会 社 名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社 (東証プライム市場 証券コード:3769)
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 相浦 一成
事 業 内 容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資 本 金	133 億 23 百万円

【GMO イプシロン株式会社】(URL : <https://www.epsilon.jp/>)

会 社 名	GMO イプシロン株式会社
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号 ヒューマックス渋谷ビル
代 表 者	代表取締役社長 村上 知行
事 業 内 容	■オンライン販売の決済代行、代金回収代行及びそれらに付帯する業務
資 本 金	1 億 5 百万円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード:9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社(グループ経営機能) ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2025 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2025 GMO Epsilon, Inc. All Rights Reserved.